

2017年3月28日

各 位

会 社 名 新日本空調株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 夏井博史
コード番号 1952 (東証 第1部)
問 合 せ 先 経営企画本部長 和木英人
(TEL 03-3639-2701)

中期経営計画『SNK Value Innovation 2020』策定について

当社は、2017年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画『SNK Value Innovation 2020』を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

I 基本方針

新日本空調として設立50周年を迎える2019年を来たる次世代の50年間に向けた「飛躍の年」と位置付け、当社創業90年となる2020年以降の近未来に当社グループがパイオニアとして培ったDNAと成長ベクトルをつなぐ新たな3ヵ年経営計画『SNK Value Innovation 2020』を掲げます。

この新3ヵ年経営計画は、前中期経営計画から2020年代に繋げる仕上げの3ヵ年であり、前計画で掲げた経営課題への取り組み継続を念頭に環境変化に適応した新たな施策を行うもので、その基本方針を「**地球環境の保全と持続可能な地球社会の実現に貢献する環境ソリューションカンパニーとして、顧客や社会の要請に応え、2020年代への持続的成長と新たな企業価値の創造を目指す**」と決めました。

当社グループの総力を挙げて追求してきた「SNK 技術力」に更に磨きをかけ、顧客ロイヤルティの向上を確実なものにするために、空調エンジニアリング力を中核としたワンストップソリューションの推進と多面的展開、成長事業分野と海外等の事業領域拡大や、安全と品質を重視したモノ作りの原点に還った設計施工技術開発とその伝承に努めるとともに、IoT、AI等の情報技術革新をベースとした最新技術開発を行います。また、それを実現する経営基盤においては、人材の多様化、主体性・創造性・協調性にあふれた人材育成と社員総意のワーク・ライフ・バランスを実現し、コンプライアンスの徹底と透明性の高い経営基盤の維持向上を行い、激変する社会への対応と開かれた企業体質の更なる進化を図ります。

従い、次の**三つの経営課題**を掲げます。

1. **顧客ロイヤルティの向上に向けた成長戦略の展開と推進**
2. **安全・品質確保と生産性向上に向けた設計施工技術と情報技術の融合**
3. **透明性の高い経営基盤の構築と社会ニーズに沿った経営資源活用の健全化**

II 経営課題と対処すべき施策

1. 顧客ロイヤルティの向上に向けた成長戦略の展開と推進

顧客ロイヤルティの実現に向け、当社が永年掲げてきた「ワンストップソリューション」の概念を多面的に捉え、顧客信頼度の向上と事業基盤の拡大に資する事業展開を推進します。

- ① 顧客への貢献力向上に向け、当社の強みとする垂直ワンストップソリューションの展開とグループ企業や電気分野、防災分野を含む環境ソリューション全般とのコラボレーションによる水平ワンストップソリューションの拡充

- ・グループ企業との協働による垂直方向のワンストップの強化
- ・施工/保守分業化の推進と保守保全業務に資する情報技術開発の実施
- ・グループ企業や電気分野、防災分野企業との業務提携の推進による水平方向のワンストップの進化・拡充
- ・多面的ソリューションを繋ぐファシリティソリューション機能の充実

- ② エネルギープラント分野における事業拡大

- ・スマートエネルギー分野での経験・技術の蓄積を生かしたソリューションの展開
- ・新エネルギー分野におけるソリューション提供企業としての当社ポジションの確立
- ・原子力分野における新規制基準対応と安定化対応に向けた総合的取組みの強化

- ③ 海外分野における現法ネットワーク機能の強化推進と国内外ワンストップソリューションのシームレスな展開

- ・現法ネットワーク機能の強化推進による現海外事業領域での収益性向上
- ・グローバル顧客に対する国内外ワンストップソリューションの推進による連結事業基盤の充実化

- ④ 成長分野での設備投資・事業展開に向けた積極投資と体制強化

- ・iPSに代表される再生医療等、先端医薬・バイオ分野等戦略事業領域の業容拡大に向けた積極投資と体制強化

2. 安全・品質確保と生産性向上に向けた設計施工技術と情報技術の融合

「SNK 技術力」の更なる進化に向けて「安全と品質」を担保するために、基本に立ち返った管理を実行します。また、近年急速な発展がみられる情報技術を有効活用し、生産性向上に資する IoT や AI 技術を融合した設計施工技術開発を進めるとともに、情報通信デバイス活用により工事業務管理の省力化と効率化を実現させ、設計施工保守情報のデジタル化（BIM、3D-CAD 等）にも注力します。

① 安全・品質トラブル“ゼロ”を目指した管理の推進

- ・工事業務管理の省力化と効率化に向けた情報通信デバイスの活用推進
- ・基本に立ち返った安全・品質管理の見直しと強化

② 施工生産性向上を目指した省力化技術の開発

- ・「柔ワイヤー工法®」で実現した施工省力化と生産性向上の両立を実現させる省力化技術の開発推進
- ・大学、研究機関等との連携による技術開発のスピードアップと効率化の実現

③ 当社保有技術（可視化、エナジークエスト等）の進化と更なる展開

- ・顧客ニーズに基づく技術開発の推進
- ・微粒子可視化技術の深化を目指した商品開発と自社ブランド「ViEST®」のラインアップ充実
- ・スマートエネルギー分野での経験蓄積の基盤となる「エナジークエスト®」の機能強化に資する技術開発の推進

④ ZEB 化等、省エネルギー対応や成長分野での事業深耕に資する技術開発の推進

- ・ZEB 化等、省エネルギーに向けた設計施工保守情報のデジタル化（BIM、3D-CAD 等）の推進
- ・感染症・汚染対策や医薬バイオ分野等、成長分野での事業深耕に資する技術開発の推進

3. 透明性の高い経営基盤の構築と社会ニーズに沿った経営資源活用の健全化

社会経済環境の変化に対し、求められる社会的責任を果たすことはもとより、変化に迅速に対応する経営資源の健全化が求められています。財務体質の強化やコンプライアンス体制の継続的活動に加え、働き方改革と企業の持続的成長の両立に向けた労働生産性向上の取組みを推進し、ワーク・ライフ・バランスに根差した社員総意の人材活用に努め、近未来への新たな枠組みへと進化させていきます。

① コーポレート・ガバナンス体制の継続強化

- ・建設業法、労働基準法、会社法および金融商品取引法等、
当社事業関連法規の順守
- ・コーポレートガバナンス・コードに準拠した経営体制の推進

② 当社グループ全体での企業統治体制の確立と CSR 活動の強化推進

- ・当社グループ経営方針の水平展開と財務・人事・法務等、
連結企業統治体制の確立に向けた体制構築
- ・CSR 活動の強化推進

③ 働き方改革に根差した労働生産性の向上

- ・それぞれの職場環境に合ったメリハリのあるワーク・ライフ・バランスを
実現するマネジメント方式の制度設計と運用
- ・現場での業務生産性向上に資するサポート体制の構築と運用

④ 多様化に向けた当社グループ全体での人材育成制度の構築

- ・国籍、性別、知識経験の異なる人材ダイバーシティの推進
- ・多様な働き方を可能とするワーク・ライフ・マネジメントの実行

Ⅲ 定量計画

新日本空調グループの総力を挙げて取り組む、新3ヵ年経営計画『SNK Value Innovation 2020』における最終年度（2020年3月期）の連結定量目標を次の通り定めます。また、当社グループはこの新3ヵ年経営計画の実施に対し、中長期的視野での経営体質強化および新事業展開等を図るための研究開発や設備投資等を勘案するとともに、今まで以上に収益性や効率性向上に努め、結果としてROEを高める中長期的な成長を重視し、2020年代への持続的成長と新たな企業価値の創造を目指します。

単位：百万円

	2019年度
受注工事高	120,000
完成工事高	120,000
完成工事総利益	12,300
営業利益	4,600
当期純利益	3,400
ROE	8.0%

Ⅳ 配当方針

当社グループの中長期的な成長に向けた事業展開、経営基盤の強化等を図りながら、連結配当性向30%以上を目標として、安定的な配当を実施していくことを基本方針とします。

また、自社株取得は、資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的として弾力的に実施していきます。

以上